

ニセ電話詐欺被害防ぐ

大垣西濃信用金庫瑞穂支店に感謝状



感謝状を手にする大垣西濃信用金庫瑞穂支店の長谷千晴さん(右から2人目)ら＝北方署

北方署

北方署は、ニセ電話詐欺の被害を未然に防いだとして、瑞穂市十九条の大垣西濃信用金庫瑞穂支店に署長感謝状を贈った。

署によると、7月13日午後2時40分ごろ、支店を訪れた瑞穂市の60代男性が、窓口で250万円の現金を引き出そうとし、職員の長谷千晴さんが目的を聞いたところ、返答があいまいで落ち着きがない様子だったため上司に相談し、支店が

署に通報した。

男性は、スマートフォンに届いた決済案内のメールに返信したところ、見知らぬ人から電話があり、「料金の未払いがある」と金銭を請求されたという。

贈呈式が署であり、河田安功支店長や長谷さんらが出席。感謝状を贈られた長谷さんは「お客さま一人一人を大切にしたい」と話した。横林公弘署長は「被害を未然に防いでいただき感謝している」と述べた。

(高橋友基)